

企業会計（消費税込み）

区分	収益的収支		資本的収支		概要
	24年度	24年度	24年度	24年度	
水道事業	収入	17億237万円	1億8,562万円		配水量（年間） 11,284,253立方メートル 給水戸数30,151戸
	支出	15億5,382万円	8億2,236万円		
病院事業	収入	9億7,899万円	4億8,029万円		療養病床数 56床 （一般病床は休床） 入院患者 49.2人/日 外来患者 46.4人/日 （うち診療所患者 31人/日）
	支出	9億7,895万円	5億2,120万円		

※資本的収入額が支出額に不足する額は、損益勘定留保資金などで補てん

市債の状況（特別会計）

項目	24年度末 現在高	23年度末 現在高	増減額	伸び率
下水道債	289億228万円	286億8,921万円	2億1,307万円	0.7%
上水道債	53億5,109万円	54億7,243万円	▲1億2,134万円	▲2.2%
その他	21億2,342万円	17億8,038万円	3億4,304万円	19.3%
計	363億7,679万円	359億4,202万円	4億3,477万円	1.2%

基金の状況（特別会計）

項目	24年度末現在高	23年度末現在高	増減額	伸び率
基金	40億6,031万円	42億8,957万円	▲2億2,926万円	▲5.3%

特別会計 会計別一覧

区分	24年度		25年度	
国民健康保険事業会計	収入	92億397万円	収入	9,661万円
	支出	88億5,881万円	支出	9,661万円
	収支	3億4,516万円	収支	0万円
簡易水道事業会計	収入	5億7,625万円	収入	5,194万円
	支出	5億6,467万円	支出	2,295万円
	収支	1,158万円	収支	2,899万円
土地建物造成事業会計	収入	3,800万円	収入	71億6,708万円
	支出	399万円	支出	70億4,405万円
	収支	3,401万円	収支	1億2,303万円
貯木事業会計	収入	1,209万円	収入	459万円
	支出	1,209万円	支出	310万円
	収支	0万円	収支	149万円
公設地方卸売市場事業会計	収入	769万円	収入	11億1,834万円
	支出	1,882万円	支出	11億1,178万円
	収支	▲1,113万円	収支	656万円
下水道事業会計	収入	47億8,174万円	収入	11億1,834万円
	支出	47億6,812万円	支出	11億1,178万円
	収支	1,362万円	収支	656万円
駐車場事業会計	収入	5,194万円	収入	11億1,834万円
	支出	2,295万円	支出	11億1,178万円
	収支	2,899万円	収支	656万円
介護保険事業会計	収入	71億6,708万円	収入	11億1,834万円
	支出	70億4,405万円	支出	11億1,178万円
	収支	1億2,303万円	収支	656万円
	収入	459万円	収入	11億1,834万円
	支出	310万円	支出	11億1,178万円
	収支	149万円	収支	656万円
後期高齢者医療事業会計	収入	11億1,834万円	収入	11億1,834万円
	支出	11億1,178万円	支出	11億1,178万円
	収支	656万円	収支	656万円
公設地方卸売市場事業会計	収入	9,661万円	収入	9,661万円
	支出	9,661万円	支出	9,661万円
	収支	0万円	収支	0万円

舞鶴市の財政状況

舞鶴市の財政の客観的な判断指標は次のとおりです。いずれも健全な状態を示す数値になっています。

健全化判断比率等の状況				
項目	概要	舞鶴市の数値	早期健全化基準	財政再生基準
経常収支比率	毎月の給料に対する食費、家賃、光熱水費、ローン返済など、毎月決まって支払わなければならない経費の割合。数値が100を下回る割合が大きいほど自由に使えるお金が多いといえます。	90.7		
実質赤字比率	福祉、教育まちづくりなどの行政サービスを行う一般会計などについて、支出に対する収入の不足額（赤字額）が標準的な収入に占める割合。この比率が高くなるほど、赤字の程度が大きいといえます。	-	15%	20%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字額が、標準的な収入に占める割合。市全体としての赤字の程度を表します。	-	20%	30%
実質公債費比率	1年間の収入に対して、借入金（市債）の返済額などがどれだけの割合になるのか数値化（過去3年平均）し、借入金返済の負担額をチェックする比率。	10.4%	25%	35%
将来負担比率	1年間の収入に対して、借入金や職員の退職金など将来必ず支払わなければならないお金の総額をチェックする比率。	75.3%	350%	

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字が発生していないので数値が算定されないため「-」で表示しています。

まいづる家のもう一つのお財布

特別会計

特別会計（企業会計を含む）は、水道事業など特定の事業を行う場合、その収入をもってその事業の経費を賄うため、一般会計とは別に経理を行う会計です。

特別会計の歳入総額は263億894万円（前年度から2.5%増）、歳出総額は262億8,472万円（同0.4%増）となりました。

なお、平成24年度公設地方卸売市場事業会計は、平成25年6月30日で廃止となりました。

▼決算についてのお問い合わせは 財政課（☎66・1046）へ。



お金の使い道を紹介
24年度に取り組んだ主な事業

【安心のまちづくり】

- ◆ハザードマップ作成事業…483万円
- ◆庁舎改修事業費（非常用自家発電設備設置改修設計等）…7,906万円
- ◆防災行政無線（同報系）整備事業…2億1,483万円
- ◆消防施設整備事業（消防ポンプ自動車等）…9,425万円
- ◆子育て交流拠点施設整備事業…367万円
- ◆中学校給食モデル校実施事業…4,190万円
- ◆校舎等改修事業（小・中学校）…8億2,048万円
- ◆みんなにやさしい安全道路整備事業（道路橋りょう費）…9,782万円



▲子育て交流拠点施設の完成予想図



▲消防ポンプ自動車と高規格救急車を配置



▲舞鶴赤れんがパークがオープン



▲公開事業評価を実施

【活力あるまちづくり】

- ◆赤れんがパーク整備事業…2億4,698万円
- ◆着地型観光推進事業…1,227万円
- ◆まいづる元気産業創出事業…9,000万円
- ◆京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業…2,050万円

【市民に役立つ市役所づくり】

- ◆公共施設のあり方調査検討事業…2,565万円
- ◆情報発信強化事業…132万円
- ◆行財政改革推進経費（公開事業評価の実施等）…104万円

お金の使い道を紹介

「住んでよし、働いてよし、訪れてよしの『選ばれるまちづくり』を実現するために『活力あるまちづくり』『安心のまちづくり』『市民に役立つ市役所づくり』を重点施策として取り組んだ主な事業を紹介しします（上図）。

基金（貯金）と市債（借金）

基金とは貯金のことです。24年度は、23年度決算の黒字額の一部の積み立てなどで、10億2,274万円の増額となりました。基金には、急激な支出の増加による歳入不足に備えたり、特定の事業を行う目的で積み立てるものがあります。

市債とは借入金のことです。一般会計では、道路や施設を建設するために借り入れた建設地方債の残高が23年度に比べ9,323万円減少し、臨時財政対策債（返済費用が、後年度に交付税で全額措置）などの残高は、8億5,227万円増加しました。市債によるお金の借り入れは、次のような意味があります。

◆学校や公園、公共施設などの建設費用は多額であるため分割して支払うことで、負担を分散させる

◆何十年も使用される施設などの建設費は、現在税金を納めている方だけではなく、後世代の方にも公平に負担してもらおうというもの

◆返済額の一定割合の額が国の地方交付税交付金に措置される制度があり財政的に有利となる場合がある

市債の状況（一般会計）

項目	24年度末 現在高	23年度末 現在高	増減額	伸び率
建設地方債	203億6,391万円	204億5,714万円	▲9,323万円	▲0.5%
臨時財政対策債など	128億6,344万円	120億1,117万円	8億5,227万円	7.1%
計	332億2,735万円	324億6,831万円	7億5,904万円	2.3%

基金の状況（一般会計）

項目	24年度末 現在高	23年度末 現在高	増減額	伸び率
基金	107億4,920万円	97億2,646万円	10億2,274万円	10.5%